

ICT活用授業実践報告書

【H24年度3年目研修】

実施学年	1年	実施教科 (科目)	算数	実施日	H24. 10. 12
単元名	3つのかずのけいさん				
本時の内容 (項目)	3つの数の加法の計算の意味と計算のしかたを理解させていくことが狙いである。今後の繰り上がりのある加法、減法の素地的学習ともなるので、具体的な問題場面とブロックの操作を結びつけて3つの数を一つの式に表してもよいことや、式に表すことの良さが実感できるようにしている。				
本時の目標	3つの数の計算(+,+)の場面を理解し、1つの式に表して計算することができる。1つの式に表すことよさを知り、進んで用いようとする。				
授業場所	教室	ICT活用時の 授業形態	一斉学習・個別学習・グループ学習		
ICT活用場面	導入・展開・まとめ・他()		ICTの主な 活用者	教師・生徒	
活用するICT 機器	電子黒板、パソコン(パワーポイント)				
ICTを活用する 目的・ねらい・予想される 効果	場面ごとに増えたり減ったりする変化を、視覚的にとらえやすくなるを考える。テンポよく、場面の移り変わりが目に見え、イメージしやすくなる。全員が目線をあげて集中させることができる。				
児童生徒の情報活用能力を 育てる指導場面・指導内容	著作権の指導(問題のアニメーションには著作権があることを明記する) 電子黒板を使うときの留意点(勝手に触らない、大切に扱うなどの指導)				
利用するコン テンツ名・サ イト等	パワーポイント				
参考にしたサ イト・文献 等	たのしいさんすう(大日本図書)				
事前の準備	パワーポイントで問題になる加減の場面のアニメーションを作る				

<p>指導計画（授業の展開）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の場面をつかむ。 ①場面をアニメーションを見る。 ②いぬが乗り物に乗る場面について、問題を声に出して読む。 ・「のりました。」は+か-かを確認する。 ・これまでと違うところをさがす。(式で3つの数を使いそうだ。) 課題：いぬはみんなでなんびきになるかしきをかんがえよう ・ブロックを動かしながらお話をする。 ・式と答えをノートに書く。 ・ブロックを操作しながら計算の仕方を順序よく説明する。 ・お話を2つの式で表した場合を提示し、1つの式と答えが同じであることを確認する。 ・お話の順に乗ったのが良く分かる式はどちらか考える。 まとめ：3つのかずのけいさんも1つのしきにあらわすことができる。 ・評価問題をやる。 	<p>(※情報モラルの指導内容) 事前に取り扱いについて説明済み</p>
<p>ICTを活用した授業時の教師側（指導上）の留意点</p>	<p>準備をして教室に置いておく時間が少しあったので、興味本位でさわらないことや、扱いの仕方を確認する。 問題文とアニメーションが合うように、次の場面に移るときのタッチペンの動かし方に気をつけた。(練習をした。)</p>	
<p>ICTを活用した授業時の児童生徒の反応</p>	<p>授業前にパソコンやプロジェクターがあるだけで、これから何が起こるのだろうという期待感をとても感じた。画面を見せ、アニメが動くのを見たとき「すごい！」と、とても興味をもって見てくれた。機械の興味にとどまらず、問題への理解にもつながった。なぜなら全員の子が、3つの数の足し算だということを認識して、一人学びの時間につなげることができたからである。</p>	
<p>ICTを活用した授業後の評価（実践の手応え）</p>	<p>初めは、パソコンなどの機器が教室に置いてあるだけで、真新しさからの興味に終わるかと思っていたが、電子黒板でアニメーションを見せた後、算数への授業への切り替えがしっかりできたいたし、何よりも本時、全員のノートに式が正しく書けていたことから、全員がアニメーションを見てお話を理解し、式を作ることができたといえる。</p>	
<p>今後の課題</p>	<p>毎時間 ICT を使うのは準備が大変だが、指導計画を作るうえで、どこに ICT 活用を入れればよいか考える必要があると感じた。本校では、英語以外に電子黒板を活用する機会がなかったので、教科でも活用し、子どもも触ることができる機会をもっと設けたい。</p>	

※情報モラルを指導したときは、その指導事項及び指導内容を記入する。